



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



1月号

新年 明けまして おめでとうございます

にぎやかな声が学校に戻ってきました。冬休み中は大きな事故もなく、子どもたちは元気に過ごしたようです。ご家庭・地域での見守りなど感謝いたします。本年もよろしくお願ひします。

今年1年、地域の皆様、保護者の皆様、そしてお子様はどんな夢や目標をもたれたでしょうか。3月の修了式・卒業式まで「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、あっという間に過ぎていくことと思います。3学期は1年のまとめをしっかりとし、来るべき次年度の備えをするときです。夢や目標の実現に向かってコツコツと努力を続けることが大切だと思います。授業中にがんばって発表すること、学習した漢字の読み書きや計算を正確にできるようにすること、苦手だった縄跳びができるようになること、忘れ物をせずきちんと持ち物をそろえて授業に臨むことなど、身近で小さなことでも良いので、自分の目標や課題をしっかりともち、努力を続けて欲しいと思います。

最後に、教職員一同、一日一日を大切にしながら、今年度のまとめと次年度に向けた準備をしっかりと行ってまいりたいと思います。引き続き、保護者及び地域の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

(校長)



箱根駅伝で、青山学院大学黒田選手が早稲田大学監督車に向けたガッツポーズが、ネットやマスコミで話題になりました。それについてポストした元箱根駅伝ランナーだった俳優の和田正人さんの「**社会に出る前の一人の学生の話なのです。見守ろうぜ、大人たち。**」という表現が、とても印象的に残りました。二十歳を過ぎたとはいえ、まだ学生の選手を、あたたかく見守ろうという「寛容性」を感じたからです。

小学生を育てる私たち（教師も保護者も地域の大人も）は、日々、子供たちの様々な姿を見えています。成長途上の子供たちですから、失敗やトラブルを経験したり、仲間との関わりで傷ついたり相手を傷つけたりしながらお互いに育っていきます。そんな場面を成長の機会ととらえ、時には見守ったり、時には厳しく指導したり、時には折り合いをつけることを教えたり、時には寄り添ったりしながら、未熟さを理解した上で、心を広く持ってかわり続ける姿勢が大切だとあらためて思いました。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ今年も南林間小学校の子供たちをあたたかく見守り、本校教育へのお力添えをいただきますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

(教頭)